

10 人件費は高いのかな？

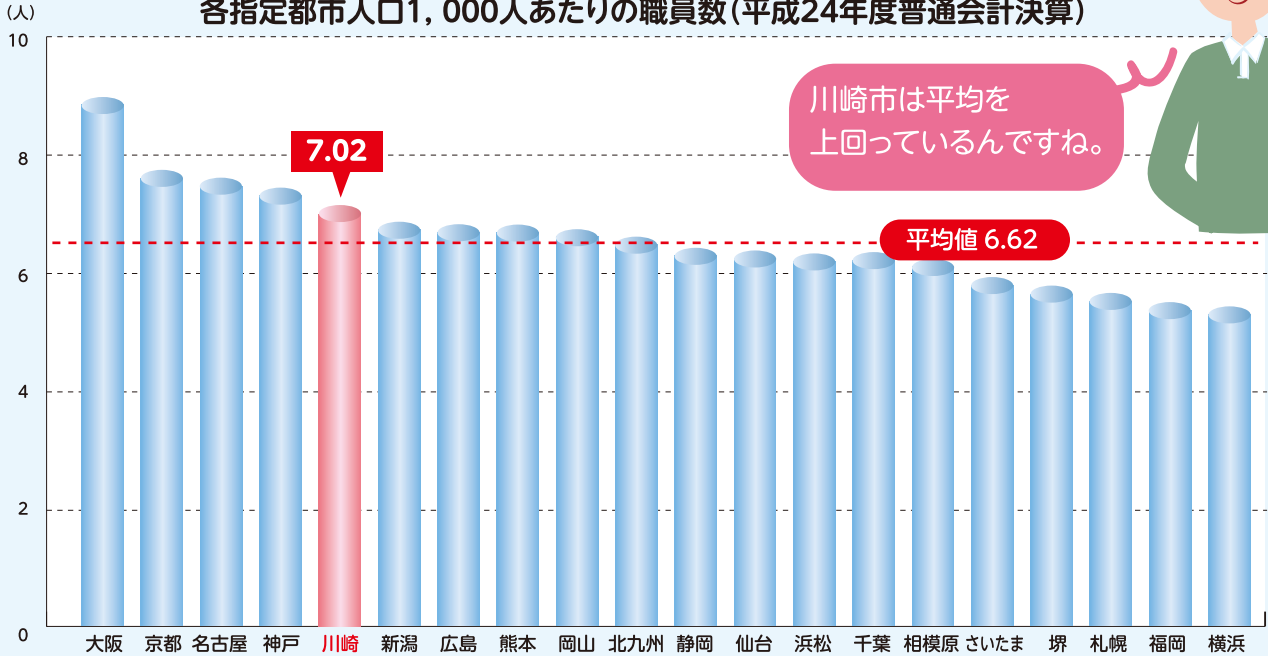
次に、削減努力をしている人件費について見てみましょう。



職員の数をお他の都市と比べてみよう



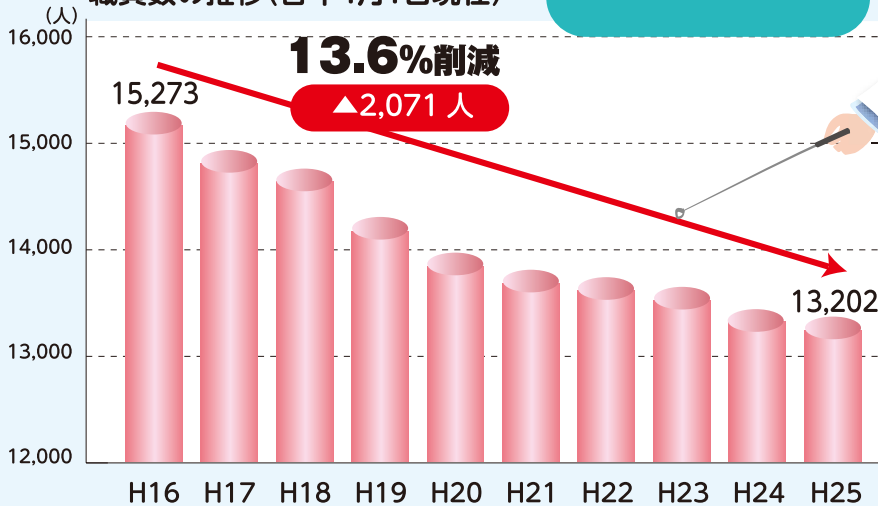
各指定都市人口1,000人あたりの職員数(平成24年度普通会計決算)



川崎市は平均を上回っているんですね。

平均値 6.62

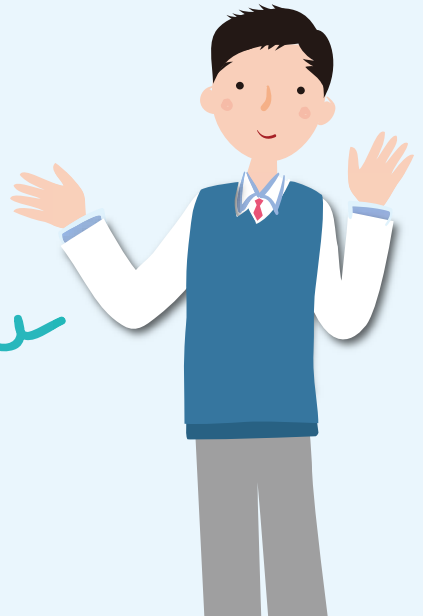
職員数の推移(各年4月1日現在)

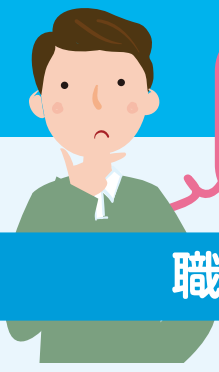


指定都市の中では5番目に多いですね。でも、下のグラフを見てください

おや、職員数はだいぶ減ってきているんですね。

ただ職員数を減らしただけでなく、仕事のやり方などを工夫して、これまでのサービスの質を確保するとともに、新たな課題にもしっかり対応することが重要です。

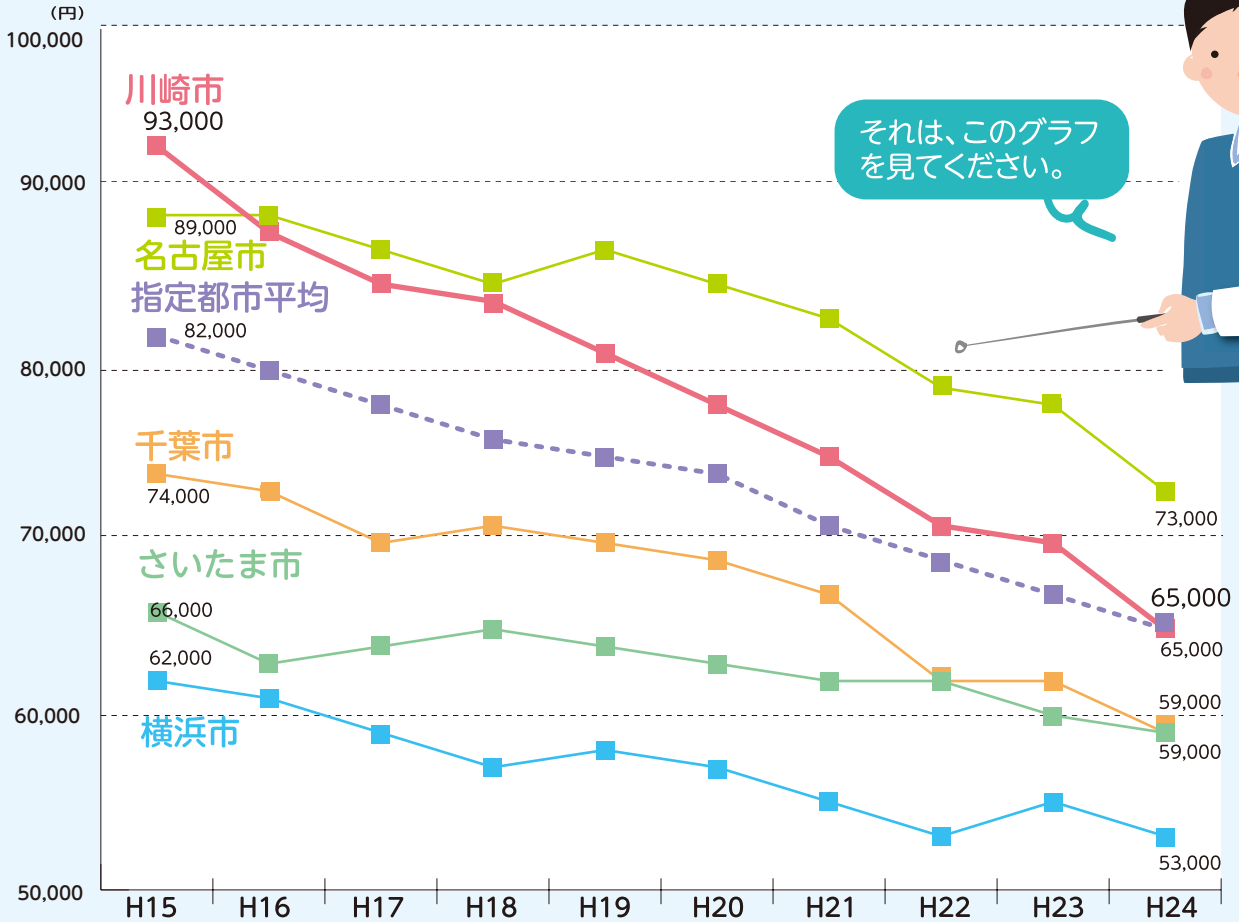




では、職員の給与
などの人件費は
どうなんですか？

職員の人件費を市民一人あたりで比べてみよう

市民一人あたりの人件費の推移(普通会計決算)



それは、このグラフ
を見てください。



川崎市の人件費は
指定都市平均と同じになる
まで減ってきましたね。
しかし、近隣の指定都市と
比べると、まだ高いですね。

改革の取組で着実に
減少してきていますが、
他の都市も同様な状況です。
引き続き、行政のスリム化に
向けて取り組むべきですね。

毎年ちゃんとチェック
しているんだ。パパの
健康診断と同じだね。

財政の健康診断 財政状況をチェックする4つの指標

地方自治体は、平成19年度決算から財政の健全性を判断するための4つの指標を公表することが法律で義務づけられました。川崎市でもこの指標でチェックした結果、どの指標においても財政状況は健全な状況を維持しています。

☑実質赤字比率

☑連結実質赤字比率

☑実質公債費比率

☑将来負担比率

